

めじろ台まちづくり協議会子育てアンケートのお願い

2021. 6. 1

【めじろ台まちづくり協議会の活動】

めじろ台のまちができて50年が経過し、地域が高齢化する中、空き家問題など、様々な課題ができてきています。こうした中、元気で持続可能なまちづくりをめざし、めじろ台まちづくり協議会が発足し、この4月には、正式に八王子市に認定されました。現在、緑化・景観、駅前活性化、医療・福祉、空き家・空き地、若い世代・子育て世代、住宅・空間の5つのチームに分かれてま議論を進めています。

【アンケートを実施する趣旨】

次世代につなぐまちをつくっていくためには、子育て支援策を充実し、若い世代に魅力を感じてもらえることが大切です。子育てを地域のみinnで応援することで、まち全体が元気になっていけたらいいと考えています。

そこで、若い世代・子育てチームでは、子育て中の方や子育てを終えた方から、めじろ台の子育て支援について、ご意見をいただけたらと考えております。

皆様のアンケートへのご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

*若い世代・子育て世代チームの活動や議論の内容については、アンケートの後に掲載させていただきます。ご興味のある方はどうぞ、お読みください。

【質問内容】 以下ご回答、よろしくお願いいたします。

1. めじろ台に住むことになった経緯（該当するものにチェックを入れてください。複数回答可）

- 親が住んでいた まちに魅力を感じたから 通勤に便利 住環境が良い
 不動産購入の条件が良かった 住宅の家賃が条件に合っていた

2. 同居している家族（該当する方にチェックを入れてください。）

- 本人 夫 妻 父 母 義父 義母
 子ども 乳児（ ）人 未就学児（ ）人 小学生（ ）人
中学生（ ）人 中学生以上の未成人（ ）人
 その他（ ）

*その他についてご記入ください。

以下、お子様がいらっしゃる方のみお答えください。

3. 子育てをされていて不安や孤立感を感じることはありますか。

- 全く感じない 少し感じる まあまあ感じる 強く感じる

4. 子育てについて困っていることはありますか。

はい いいえ

→はいと答えた方は、差し支えなければ内容をお書きください。

()

5. 子育てについて気軽に相談できる人は近くにいますか。

近くにいる 近くにいない

未就学児・小学生をお持ちの方にお聞きします。

6. 日中、お子様をみる方はどなたですか。チェックを入れてください。(複数回答可)

子どもの母 子どもの父 子どもの祖父母や身内 近所の人

保育園・幼稚園など保育サービス 学童保育 その他()

7. これまでめじろ台で開催された行事で楽しかったものがあつたら教えてください。

例：めじろ台祭り

()

8. めじろ台で子育て支援の活動であつたらいいなと思うことがあればチェックしてください。(複数回答可)

子どもの駄菓子屋さん、食の交流、 ミニ農園 草木や鳥の観察会

寺子屋 ラジオ体操

その他()

9. 子育て支援の活動でご自身でこんなことができるということがあればチェックしてください。(複数回答可)

昔遊び 本の読み聞かせ 伝統的な料理 ラジオ体操 公園での見守り

その他()

10. 子育て支援の活動の場所についてお伺いします。

どのような場所がふさわしいと思いますか。チェックを入れてください。(複数回答可)

めじろ台会館 公園 空き家など活用した居場所 学校

その他()

11. めじろ台南公園や万葉公園など、地域の公園がどのような形になっていけばいいとおもいますか。ご意見があればお書きください。

例：子どもも高齢者も集えるテーブルと椅子を置いてほしい。

()

12. 駅前の活性化について、どのような施設があったらいいと思いますか。ご提案がありましたら、お書きください。

()

13. 若い世代がめじろ台に魅力を感じて、将来的に住んでもいいなと思ってもらえるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。お書きください。

()

14. その他何かご意見があれば自由にお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。頂いたご意見は大切に活用させていただきます。

*差し支えなければ、お名前とご連絡先を教えてください。

お名前：

ご連絡先 Tel:

めじろ台まちづくり協議会の活動にご興味のある方は、ぜひご連絡いただければ幸いです。

まちづくり協議会 会長 中村修 TEL:

【若い世代・子育てチームのこれまでの活動】

- ・地域が高齢化し、子育て世帯が少ないため、子どもの数自体が少ない。
- ・めじろ台では、同じ地域でも、学区が分かれていることから、子ども達や親御さんがつながりにくく、地域の人達も子ども達のことが見えにくい。子育てに関わる地域情報を集め、一元化して発信していくことが必要である。
- ・働くお母さんも増え、子ども会の活動も縮小してきている。子育て世代だけで、子育ての活動をしていくことは限界がある。高齢者や子育ての先輩などが、子育てを応援し、多世代交流をしていくことで、子ども達も親御さんも、地域の方もみんなが安心して元気になれるまちづくりをめざしている。

【今後進めていきたい活動】

- ・子育て情報を調べてまとめ、その内容をまちづくり協議会のホームページで発信する。
- ・子育てのイベントを開催し、やりながら今後の子育て支援策について、議論検討する。
- ・子育てについてのアンケート調査を実施し、子育て世帯の困っていることやあったらいい

などと思う支援策について意見を聞かせていただく。